キユーピーグループの理念

キユーピーグループの理念

社 是

楽 業 偕 悦

社 訓

- 道義を重んずること
- 創意工夫に努めること
- 親を大切にすること

(大切にしている教え)『**世の中は存外公平なものである**』

創始者中島董一郎は若き日に「世の中は横着者やずるい者が得をするように見えることもあるが、長い目で見ると誠実で真面目に努力する人が認められるもの」という主旨の文章に出会い、深い感銘を受けました。以来、生涯を通じて「世の中は存外公平なもの」と信じ、どのような困難にあっても「何が本当か、何が正しいか」を判断基準に創意工夫に努め、お世話になった方々への感謝の心を大切にし続けました。1992年までは社訓の一つでもあったこの言葉を、私たちは今も大切な教えとして継承しています。

めざす姿

私たちは
「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」をもって
世界の食と健康に貢献するグループをめざします

姿 勢

**グループ規範を遵守し、
お客様をはじめとしたステークホルダーの皆様から
最も信頼していただけるよう努めます**

キユーピーグループのグループ倫理規範・行動規範　https://www.kewpie.com/company/promise/

社是・社訓について

創始者の中島董一郎は、仕事の基本的な考え方について次のように語っていました。「志を同じくする人と業を楽しんで悦びをともにする、そこに仕事のやりがいがあると思います。まず心がけなければならないのは、道義を重んずること。つまり目先の損得ではなく、何が本当か、正しいかということを判断の基準にすることです。しかし、それだけでは目的を実現することはできません。そこで次に大切なのは創意工夫です。世の中は存外公平なものであり、もし公平でないと感じることがあれば、道義を重んずることに問題はなかったか、創意工夫に欠けていたからではないかと反省をしてみてください。そしてもう一つ、親孝行をしてください。わが子を思う親の気持ちをありがたく感じ、それに報いようとする気持ちが親孝行です。したがって親孝行のできる人とは、人の好意をありがたく感じ、それに報いることのできる人です。そういう人の周囲には、また好意を持って接してくれる人が集まり、その会社はおのずから発展するはずです」。

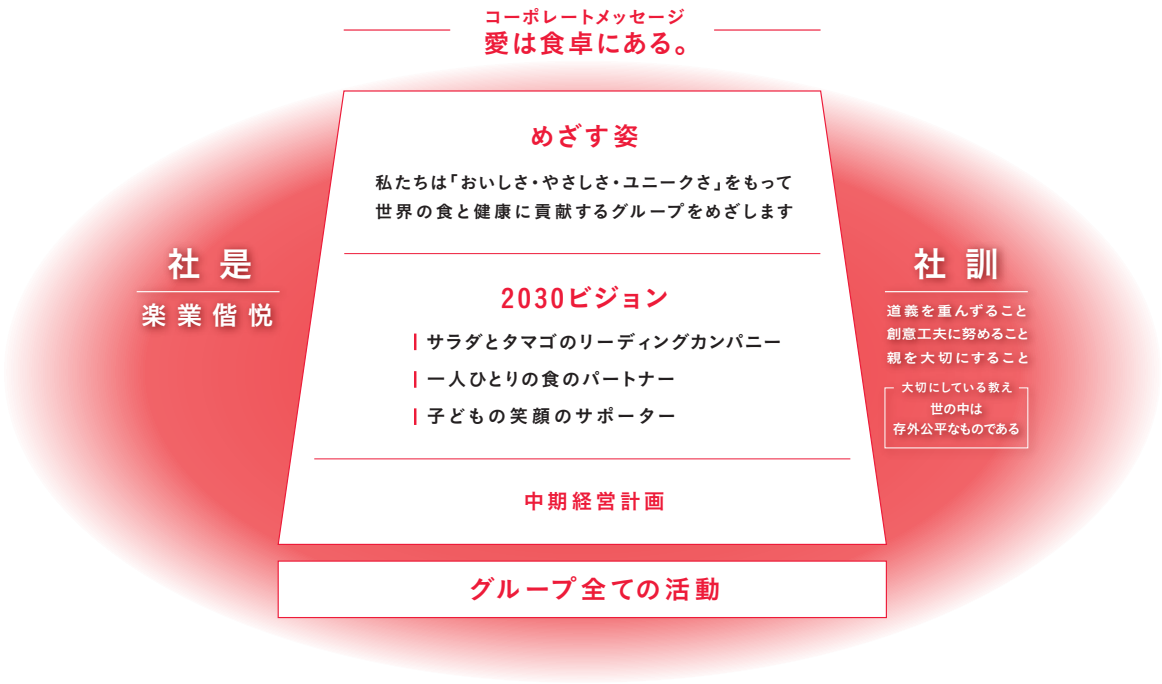
私たちは中島董一郎の仕事に対するこうした考えを、誇りを持って社風として受け継いでいます。

理念・ビジョン・コーポレートメッセージの全体像

この全体像は、コーポレートメッセージである「愛は食卓にある。」を大切にし、私たちが実現したいことを想いを込めて語るため、理念・ビジョン・コーポレートメッセージの位置づけを明確にしたものです。

キユーピーグループの理念は、全従業員が最も大切にすべき、基本的な価値観であり志です。社是・社訓という精神的な柱のもと、お客様にお届けしたい想いである「愛は食卓にある。」につながります。

そして、当社グループが持つあらゆる食シーンへの展開を軸として、「おいしさ・やさしさ・ユニークさ」をもって世界の食と健康に貢献することを「めざす姿」としています。



2030ビジョン

2018年12月、当社グループは長期ビジョンとして「キユーピーグループ 2030ビジョン」を策定しました。これは「めざす姿」を実現するために、私たちが2030年にグループとしてどうありたいのかをまとめたもので、「世界・お客様・社会」の3つの視点に注力した取り組みとしています。当社グループは、内食・中食・外食に幅広く深く展開しているとともに、赤ちゃんから高齢の方まで、人の一生の様々な食の場面に深く関わっています。一人ひとりの食生活に寄り添うことで、人と人とが心のつながりを実感できるように、健康的な食生活をサポートしていけるように努めていきます。そして、未来を創る子どもの心と体の健康を応援するとともに、少しでも良い地球環境・良い社会を残していけるよう、様々なサステナビリティへの取り組みを進めていきます。